

統合報告書2023の発行にあたり

統合報告書の発行は5年目を迎えました。これまでの発行を通じて、「長期循環型ビジネスモデル」により、長期的にどのように街の魅力を高め、住み続けられるまちづくりを実践していくのかを一貫して発信してまいりました。加えて2022年度は創立100周年を迎えたことを機に、これまでの歴史の中で積み上げてきた非財務資本の強みを整理して開示しました。

本報告書では、2021年度を始期とする中期3か年経営計画の最終年度を迎えるにあたり、中計で掲げた「収益の復元」と「新たな成長への転換」に向けた、「構造改革」と「環境変化対応」の進捗を中心に取り上げ、特に次の点をお伝えしたいと考えています。

▼ポイント

- ・2023年6月29日からの新社長体制における抱負
- ・中期経営計画の最終年度への取り組みの進捗
- ・サステナビリティへの取り組みの開示強化

また、統合報告書の情報ボリュームを見直すことで可読性の向上を目指し、より詳細な情報はホームページなどで確認できるよう情報開示を見直しました。

本報告書をステークホルダーの皆様との対話のツールとし、さまざまなご意見やアドバイスをいただきながら、さらなる価値協創に取り組み、持続的な企業価値の向上につなげてまいりたいと存じます。

2023年9月

東急株式会社
取締役 常務執行役員 経営企画室掌管
「統合報告書2023」発行責任者 **濱名 節**

編集方針

本書は、当社が中長期にわたり、どのように価値を生み出していくかについて、過去・現在・未来の姿とサステナブル経営の仕組みをお示しすることで、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的としています。また、本書の発行を通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深化させ、頂戴したご意見を改善に生かし、さらなる企業価値向上の取り組みを進めてまいります。

参照ガイドライン

IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス」を参照しています。



報告対象

報告対象範囲：東急株式会社および連結子会社（当社グループ）
報告対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日（2022年度）を原則としていますが、一部当該期間の前後に活動する記述も含まれます。

発行時期：2023年9月

将来の見通しに関する特記事項

この報告書に記載されている意見や見通しは、報告書作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。このため将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。

最新の情報は下記IRサイトをご参照ください。
<https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir.html>

発行物の位置付け

発行物	内容	WEB
統合報告書	詳細はP.02目次をご参照ください。	
会社案内	全てのステークホルダーの皆様に向けて当社の概要および取り組みを分かりやすく説明しています。	
有価証券報告書	金融商品取引法第24条1項に基づき作成し、関東財務局への提出を義務付けられている報告書です。財務状況に関する詳細な情報はこちらをご参照ください。毎年6月下旬に発行しています。	
コーポレート・ガバナンス報告書	「コーポレートガバナンス・コード」に従い、当社のコーポレート・ガバナンス（企業統治）の考え方や体制などを記述した、東京証券取引所へ提出している報告書です。機関設計、運用状況、取締役会の実効性評価などはこちらを併せてご参照ください。	
安全報告書	2006年の鉄道事業法の改正により公表が義務付けられた「安全報告書」として、東急電鉄の鉄軌道事業の安全に関する情報を体系的に記載しています。	

*サステナビリティの取り組み、環境データに関する詳細は、右記をご参照ください。 <https://tokyu.disclosure.site/ja>

統合報告書2023のハイライト

トップコミットメント

▶ P.09



強みのクリエイティビティで
独自の循環再投資を成功に導く

新たなエリア価値の創出

▶ P.17



都心と沿線におけるまちづくりの特徴、
社会的効果・事業効果

サステナビリティの取り組み



社会的影響 (▶ P.25,55)、脱炭素移行計画 (▶ P.59)、
人権の尊重 (▶ P.64)、安全共創館 (▶ P.66)、
非財務データ (▶ P.85)

CONTENTS (目次)

東急を知る	03 私たちの目指すもの
	05 価値創造の軌跡
	07 At a glance
	09 トップコミットメント
	15 事業展開のフィールド
	17 新たなエリア価値の創出
価値創造ストーリー	21 価値創造プロセス
	23 ビジネスモデルと競争優位性
	25 将来像
経営戦略	27 経営計画の変遷
	29 中期3か年経営計画の進捗
	31 リスク・機会と将来の打ち手
	33 サステナブル重要テーマ (マテリアリティ)
	35 財務担当役員メッセージ
事業別戦略と実績	38 事業別戦略と実績
	39 交通
	41 不動産
	43 生活サービス
	45 ホテル・リゾート
価値創造の源泉	47 人的資本
	51 知的資本
	55 社会・関係資本
サステナビリティを支える基盤	57 サステナビリティマネジメント
	59 脱炭素・循環型社会
	64 人権の尊重
	65 安全・安心
	67 社外取締役座談会
	71 コーポレート・ガバナンス 役員 執行役員 役員の構成
	73 機関設計 取り組み 体制 役員の専門性と多様性
	75 取締役会の審議・ 実効性向上に向けた取り組み
	77 諮問委員会の活動 / 選任等 / 経営人材育成 / 報酬
	79 グループガバナンス・政策保有株式 コンプライアンス
企業情報	81 経営成績
	83 11か年財務データ
	85 非財務データ
	87 主な関係会社 会社概要・株式情報